

アンケート結果(概要)

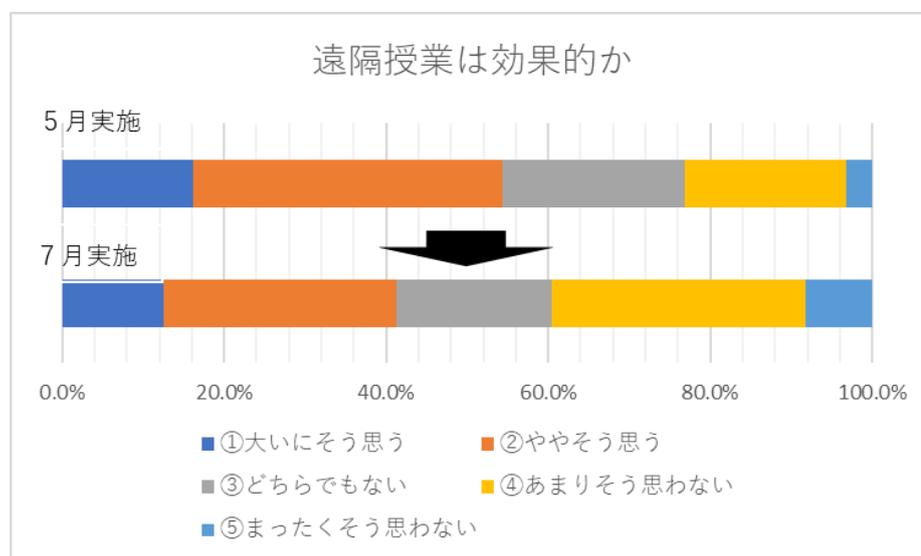
1. 遠隔授業に関するアンケート(実施期間:7/10~7/27)

■回答件数:1,246 件(対象者数:2,362 人 回答率 52.8%)

(内訳)

所属・学年	回答者数	対象者数	回答率
学部 1 年生	423 人	531 人	(79.7%)
学部 2 年生	356 人	550 人	(64.7%)
学部 3 年生	283 人	538 人	(52.6%)
学部 4 年生(過年度生含む)	131 人	623 人	(21.0%)
大学院生(現代商学専攻)	8 人	28 人	(28.6%)
大学院生(アントレプレナーシップ専攻)	43 人	73 人	(58.9%)
その他(科目等履修生・研究生)	2 人	19 人	(10.5%)
合計	1,246 人	2,362 人	(52.8%)

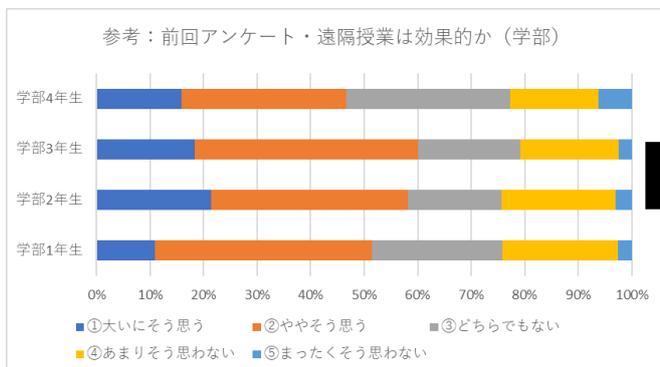
Q. 現在, 本学では全ての授業で遠隔授業を実施していますが, 遠隔授業で効果的に学ぶことができていると思いますか。(いずれか 1 つを選択)



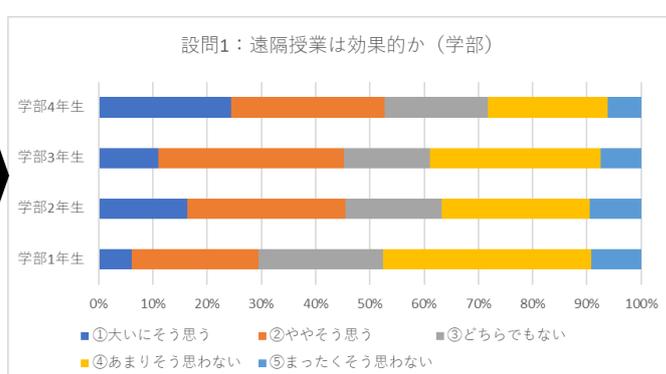
「遠隔授業は効果的か」の質問に対して, 5月実施時点では, 50%以上の学生が「大いにそう思う」「ややそう思う」と回答していたが, 7月実施時点では, 「大いにそう思う」「ややそう思う」の回答は40%強と, 10%以上下降している。

【学部1～4年:学年別の結果】

■5月実施時



■7月実施時



【1年生】

「遠隔授業は効果的か」の質問に対して、5月実施時点では50%程度の学生が「大いに思う」「やや思う」と回答していたが、7月実施時点では30%未満であり、20%以上と大きく下降している。

【2年生以上】

2年生、3年生ともに、「大いに思う」「やや思う」が5月実施時点の60%から、7月実施時点では40%台と下降している。なお、4年次生については、40%台から50%台に上昇している。

2. 後期授業実施方針(案)に関するアンケート(実施期間:8/7～8/16)

■回答件数:280件(うち教員20人)

(内訳)

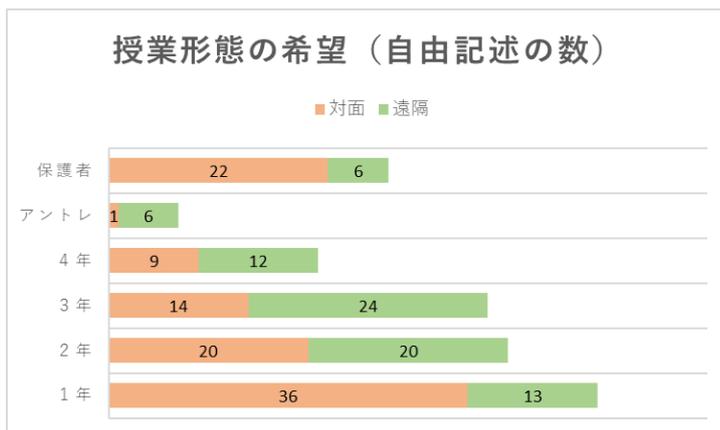
○学生:222人

学部1年生	学部2年生	学部3年生	学部4年生	大学院生	記載なし
65人	63人	54人	32人	6人	2人

○保護者:38人

■学生・保護者の回答における「遠隔」と「対面」の希望(自由記述の数)

※大学での集計において、意見の内容から判断をして数値を計上している。



3. 上記2つのアンケートにおいて多かった回答

【対面授業を希望する主な声】

小中高や企業は日常を取り戻している中、大学のみが遠隔であることが不自然に感じる。
周り情報共有ができず、友人に分からないところを聞くことが上手くできない。
特に、一人暮らしだと孤独に感じてしまう。
オンラインでは友達が上手く作れず、学生同士で交流したいと感じてしまう。
PC等の端末を見続けることへの身体的苦痛(目や肩の疲れ等)を感じる。
対面に比べて、遠隔授業は学修効果が落ちていると感じる。
課題の量が多く、課題以外の学修時間が作れず、アルバイトにも影響を与える。
外国語科目や少人数でコミュニケーションを必要とする科目だけでも対面にすべきだと思う。

【遠隔授業を希望する主な声】

感染者が増加している中で、後期を対面授業に移行するのは危険だと感じる。ワクチンが実用化されて、かつ感染拡大が落ち着くまでは対面授業を控えたほうが良いと思う。
疾患を抱えている家族がいるため、公共交通機関等の通学リスクを避けたい。
通学負担がなく、1日のスケジュールを柔軟に組み替えやすい。
自分のペースや生活リズムに合わせて受講できるのが良い。
授業の分からないところを何度でも見返すことができるため、学習効果が高いと感じる。
数少ない対面授業のために引越しをして家賃を払うことはできない。
遠隔授業でも不自由はあまり感じず、対面授業に近いことができている。
冬において、公共交通機関が止まって講義に遅れるという問題が解消される。

【その他】

学内ネットワークを改善して欲しい。
教材資料の印刷費を補助して欲しい。
遠隔授業を継続するのであれば、今の学費は高すぎると感じるので、学費の値下げ等の経済的支援を検討してほしい。
対面授業と遠隔授業がある場合、公共交通機関の定期券を買うメリットがなくなる。
教員によって、オンライン授業の質に差が出ているため、改善して欲しい。
引越し等があるため、スケジュールや授業形態を早く発表して欲しい。
あまり早く決めようとせず、感染の流行状況を見て、もっと慎重に授業方針を決めて欲しい。
学生が自分の受講形態(遠隔か対面)を希望して受講できるようにしてほしい。
同日に遠隔と対面両方の授業があった場合、遠隔は自宅で受講するため対面は履修できない。
学生の交流の機会等を設けてほしい。